

受動部品事業について

取締役
常務執行役員

荒谷 真一

将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ(以下、TDKグループといいます。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信付属資料を参照していただきますようお願いいたします。

受動部品事業売上高の前年同期・四半期比較

前年同期比較

	前第2四半期 (2009.7.1～2009.9.30)		当第2四半期 (2010.7.1～2010.9.30)		増減	
	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	%
コンデンサ	336	35.8	377	34.5	42	12.4
インダクティブ・デバイス	289	30.8	343	31.3	54	18.6
その他受動部品	313	33.3	375	34.2	62	19.8
受動部品 計	938	100.0	1,095	100.0	157	16.8

四半期比較(1Q vs 2Q)

	当第1四半期 (2010.4.1～2010.6.30)		当第2四半期 (2010.7.1～2010.9.30)		増減	
	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	%
コンデンサ	380	36.1	377	34.5	△ 2	△ 0.6
インダクティブ・デバイス	325	30.9	343	31.3	18	5.5
その他受動部品	346	32.9	375	34.2	29	8.3
受動部品 計	1,051	100.0	1,095	100.0	44	4.2

受動部品・主要製品の四半期比較(1Q vs 2Q)

製品区分	1Q vs 2Q	増減要因
コンデンサ	△0.6%	<p>セラミックコンデンサ 自動車向け、通信機器市場向け販売が堅調に推移</p> <p>アルミ電解コンデンサ/フィルムコンデンサ 自動車、産業機器、再生可能エネルギー機器向け販売が堅調に推移 為替要因により売上高微減</p>
インダクティブ デバイス	+5.5%	<p>スマートフォン、タブレットPC向けにノイズフィルタ、電源チョークコイルなどの販売が好調</p> <p>産業機器、再生可能エネルギー機器向けノイズ対策部品などの販売も増加</p>
その他 受動部品	+8.3%	<p>高周波部品 EPCOSとのシナジー効果により携帯端末向け高周波モジュールの販売が増加</p> <p>圧電材料部品・回路保護部品/センサ スマートフォン向けアクチュエータ、回路保護部品などが堅調に推移 自動車、産業機器向けに圧電材料部品、センサのへの販売が堅調に推移</p>

